

# 第1回 地域経済活性化につながるPFI事業推進研究会 議事概要

日時：平成30年12月26日（水）13：00～15：00

場所：中央合同庁舎8号館 5階 共用C会議室

## [地域経済活性化とPPP/PFI事業の関連性・つながりについて]

- ・地域において事業を成功させるためには、地域でサービスを享受し、またそのコストの一部を負担する住民等の目線・ニーズを受注側、発注側ともによく理解していることが必要。このため、地域のニーズ・実情をよく理解している地域の企業がPPP/PFIに参画しやすい環境を整えていくことが重要。
- ・地域の企業がPPP/PFI事業に主導的な立場で参画すれば、地域の雇用拡大など地域経済活性化への貢献は当然大きいですが、その企業そのものにも副次的なメリットがもたらされることがあまり認識されていない。副次的なメリットとは、（従前の事業領域の枠を超えた）優秀な人材の自社への応募（採用）、従前の事業領域の枠を超えた顧客・企業とのコネクションの形成、企画段階の類似事業等について意見を求められ（サウンディングの対象となり）情報がもたらされること等。

## [地域企業がPPP/PFI事業に参画する上での課題]

- ・経験のない地域の企業が初めて参入する際には、提案書に求められる精度等や資金調達等に対する経験的知識等がなく、地域外の経験豊富な企業に対して不利。これらを補ってくれるコンサルタントの存在は貴重であるが、マッチング、認知度、フィー等に課題がありまだまだ一般的には活用されているとは言えない。
- ・提案書の評価における、地域貢献度の加点基準が曖昧なこと等も提案する側からみれば課題。
- ・資金調達においても地域の企業は、所謂大手の企業に対して不利。プロジェクトファイナンスだと多額の手数料が発生。だからといって、コーポレートファイナンスだと信用力の大きい企業に対して地域の企業が不利となる実態がある。
- ・発注する地方公共団体の側に、PPP/PFI事業に対する理解の深い者（職員、首長・議員等）を増やしていくこと、企業が工夫してメリットを出しやすい体制（庁内の総合調整機能や規制緩和等）を整えていくことも

課題。

[上述の課題解決への糸口]

- ・ 地域におけるより良いPPP／PFI事業の増進に向けては、地域の個別の企業の個別の事業領域を超えた連携を促進することが不可欠であることが明らかになったところであるが、そのために地域の金融機関や商工会議所に積極的に関与してもらおう方策を検討すべきではないか。
- ・ 企業間の連携促進に加え、発注側・受注側双方のPPP／PFI事業への精通度の向上を図る場として、PPP／PFI地域プラットフォームがあるが、動機付け（財政状況等に照らしてのPPP／PFIの必然性等の根本的理解）等の面で質的改善、機能強化の余地があるのではないか。